

いつくしみ



嘔吐物処理の演習の様子

特集

スギ花粉症に対する舌下免疫療法

CONTENTS

- ❄️ 新年のごあいさつ
- ❄️ もっと知ってほしい糖尿病のこと
- ❄️ 外来待ち時間に 一句一ひねり
～川柳大会をころもみて～ 内科外来補助者チーム
- ❄️ 病院からのお知らせ
- ❄️ シリーズ職場紹介 「かお」の見える医療を
北5階病棟
- ❄️ 冬のおすすめレシピ

新年のごあいさつ

昨年は、記録的な豪雨による土砂災害や御嶽山の噴火など、多くの天災が日本列島を襲いました。近年の天災の状況は、もはや地域を超えた至る所での発生で、いつしか慣れて危機感が薄れてしまうことを危惧しております。しかし、私ども医療機関で働く者はいかなる事態になろうとも地域の皆様の健康を守るため、医療の継続を目指していかなければならない使命があります。どのような災害に即しても、当院で最大限出来得ることは何かを決断・実行してまいります。

リーニア時代に突入し今年から工事が始まります。これからの10年は当地域にとって激動の時

代となるでしょう。私たちは新しい環境に適応しつつ、確たる信念を持ち地域の風習・文化を守り、変化に翻弄されることなく医療・福祉・介護の中心的役割を担ってまいります。

当院は、一般科と精神科の病床がほぼ半々と、いう全国でもまれな形態の病院です。

一般科は国が推進する病院の機能分化や地域ニーズに対応して昨年9月より従来の4病棟の急性期病棟から、3病棟を7対1看護の急性期病棟、1病棟を回復期を担う地域包括ケア病棟に再編成いたしました。精神科は医療圏内唯一の入院病床を持ち、あらゆる症例を取り扱い、身体合併症にも対応でき、一般科入院患者さんに対するリエゾンチームによる精

神的支援も行える利点を持っています。

当地域は、全国30の医療圏のみが指定されている「医療資源の少ない地域(特定地域)」の一つとされています。2040年には高齢化率38%が見込まれる当地域において、地域や家族構成が大きく変わっていく中、ご自身やご家族の健康に不安を感じられたときに頼りになる身近な病院として、地域に根ざした医療を展開してまいります。

また、医療法改正で医療を取り巻く環境はより厳しさを増しています。その中においても、職員一人一人が病院理念「仁の心」のもと、地域の方々が安心して暮らせるお手伝いをしてまいります。



日本の糖尿病患者数は年々増え続け今や中高年の3人に1人は糖尿病またはその予備軍と言われています。この生活習慣病の代表選手ともいえる糖尿病は病院で治療を受ければ治る病気ではありませんが、「不治の病」でもありません。しかし正しい治療が行われなければ「恐ろしい病気」であることは間違いありません。そのため患者さん自身が病気を理解し自己管理が行え、療養生活を円滑に送れるようにサポートさせていただくために当院では、今まで患者会の際、食事教室指導を行ってきましたが昨年からは医師、糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士を中心としたチームで、糖尿病教室を開催しています。

9月から開催し毎月15名ほど受講されており、教室の内容は病気の基礎的な知識、食事、薬、検査など治療に関することや、日常生活の過ごし方についてで、各専門の糖尿病に関してより深く勉強してきたスタッフが講師となって行っています。

今年度は残すところあと2回の教室となりました。入院や外来、他の病院で通院中の患者さん、糖尿病患者のご家族、生活習慣病が気になる方など、どなたでも気楽に参加できる教室を行っているので興味のある方はぜひお越しください。

今後もこのような活動を通し、より多くの方に糖尿病について知っていただけるように努力していきたいと思っております。

もっと知ってほしい **糖尿病** のこと

今後のスケジュール
これまでの内容と

開催日	内容	担当
平成26年9月4日(木)	病気／バランス食について	医師／管理栄養士
平成26年10月22日(水)	災害・病気の日／検査について	看護師／臨床検査技師
平成26年11月15日(土)	薬／生活について	薬剤師／看護師
平成26年12月4日(木)	食事について(ランチ付)	管理栄養士
平成27年1月21日(水)	運動について／歯について	理学・作業療法士／歯科衛生士
平成27年2月5日(木)	病気の時の食事／足について	管理栄養士／看護師



糖尿病看護認定看護師
片桐 志保

【舌下免疫療法】

舌裏面にエキスを投与し、2分間保持

- ・自宅で可能(頻回な通院不要)
- ・痛みがない
- ・重篤な副作用が激減



患者さんへの負担が少ないことが
大きなメリット



アレルギー性鼻炎への適応・普及が期待される



我が国のスギ花粉症の特殊性としては、以下の点が挙げられます。

● 春季に大量の花粉がまとまって飛ぶ

● 花粉の飛距離が数十キロ〜数百キロメートルに及ぶ

● 国民の罹病率が1/4と高い

● 花粉発生地から遠く離れた都市部まで、同時に沢山の患者が発生する

このように海外に類をみない特殊なアレルギー疾患になっています。

これまでもアレルギー疾患を根治させるために、アレルギー疾患の原因となるアレルゲンを、低濃度、少量から投与し、徐々に増量、高濃度へ移行させ、アレルゲンに対する過敏性を減少させる治療法はありました。「減感作療法」という治療です。ところが、この治療は注射で行われていたため、治療には週に2回、少なくとも100回以上の通院が必要で、必ず注射の痛みを伴

い、なおかつ、注射の部位が腫れるため、効果はあるのですが現実にはその治療を行う病院は少なくなくなり、治療する件数もどんどん減っていききました。

私はスギ花粉症をもつと苦痛無く治そうと思いい、これまでに3つの臨床試験を行ってきました。この試験の結果が、安全性(第一相試験)、パン小片などの保持剤を使用しないで毎日自宅でを行う方法と使用量(第二相試験)が厚労省に認められ、この方法を踏み台にして鳥居薬品株式会社にて大規模試験(第三相試験)が行われ、この結果が大変良好であったため、「シダトレン® スギ花粉舌下液」として薬価基準に収載され、2014年10月8日より販売を開始されました。「シダトレン® スギ花粉舌下液」は国内で初めて承認された舌下に投与する免疫(減感作)療法薬であり、従来から施行されてき

た皮下注射による減感作療法と比べ注射による痛みもなく自宅で治療ができるのが特徴です。

この治療は以下のように要約されます。

● アレルギー症状を軽減し、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法である。

● 治療前に、症状がアレルゲンによるものかの確定診断が必要。

● 治療は長期間(3〜5年)かかる。

● すべての患者さんに効果が期待できるわけではない。

そして、これまでの注射による減感作療法は病院ですべて行いましたが、舌下免疫療法は自宅で行いますので、起こりうる副作用やその際の対応も含め、患者自身の治療法に関する十分な理解が重要な治療法です。

スギ花粉症に対する舌下免疫療法

このたび、スギ花粉症の根治をめざす、

「舌下免疫療法」が始まりました。

耳鼻咽喉科・アレルギー科

堀口 茂俊



飯田病院でも治療を行います

舌下免疫療法は根治を目指す治療です



アレルギー性鼻炎は一旦発症すると自然治癒することが少なく患者は生涯の長い期間症状に悩まされます。本来、ウイルスや細菌はヒトの身体の中で増えるため、ヒトには免疫機能がこれら外敵をからだから排除しようとして、熱が出たり、鼻水がでたり、クシャミをしたり、といった炎症反応が起こります。

ところが、アレルギー性鼻炎の原因である、花粉やハウスダストはからだの中で増えたりしません。ただのタンパク質です。どうして、ただのタンパク質をこうも強烈に排除しようとするのか、まだ、このアレルギーの仕組みについて答えることは

できません。ただし、小学生の8割には何らかの抗アレルギー抗体(アレルギーの素を攻撃する抗体)が見つかりますし、国民の4割はなんらかのアレルギー症状を持ちます。しかも、これがなかなか治らない。

なぜ、自然には治らないのか。この原因として、アレルギー物質をアレルギーに対する免疫記憶が生涯にわたり維持されることにあると考えられています。アレルギー性鼻炎を根本から治すには、この頑健な免疫記憶機構にたいして介入することができないわけです。

一方、春期花粉症の代表であるスギ花粉症は諸外国には見られない我が国の特異な疾患です。スギ花

粉症の特殊性は花粉症の原因となるスギの多くが人工林であることです。人工林花粉に国民がこんなに悩まされる国はありません。日本の森林面積の40%は人工林でその7割がスギ・ヒノキです。このような人工林は北海道と沖縄を除き日本中あります。戦後に拡大造林政策を行ったのですが、国内スギの需要が低迷し樹齢の大きなスギ林増えたのです。現在スギ林面積自体は増えていませが花粉飛散のある樹齢30年以上の森林面積は現在でも増えており、今後も花粉量の増大が見込まれています。



外来待ち時間に

〽 句 〽 ひねり

～川柳大会をこころみて～

内科外来補助者チーム

内科外来補助者チームでは、外来診察待ち患者さんの“生の声”をお聞きしたいとの思いから、川柳を介して患者さんの声を集めてみよう、「外来」をお題に川柳を募集しました。

ご長寿賞

時間の進みがおそすぎて

押してやりたい 長針よ

ペンネーム 尾花さきん

91歳

ご長寿賞

外来に

来た顔かわる えびす顔

ペンネーム 実姉さきん

91歳

ご長寿賞

外来で

今日も来たけど 異常なし

ペンネーム 加藤宗一さきん

92歳

ご長寿賞

生きるだけ

生きて世のため 働けど

ペンネーム 双のるさきん

93歳

講評 よりいっそう飯田弁丸出しで優しくありたいと思います。(内科外来主任)

内科外来賞

外来の

窓口やせし 飯田弁

ペンネーム 吉沢明おじさん

80歳

講評 待ち時間でも周りに気を配る聡明なあなたが目に浮かびます。(副院長)

副院長賞

待ち時間

壁にひびい 豆知識

ペンネーム ぬまうちさん

院長賞

来ただけで

治ったような 安心感

ペンネーム のある病院であっほごうさん

61歳

講評 患者さんの期待に沿えるよう努力いたします。(院長)

初めての取り組みでしたが、数多くの投句があり、中には電話での投句や、用紙を家に持ち帰って考えてくださった方もおり、予想以上の反響をいただきました。

長い待ち時間で患者さんのつらい気持ちを詠まれた句や、外来スタッフへの思いなど詠まれていた句があり、逆に元気をいただく句もありました。今回の大会では院長賞や副院長賞も選出しました。

賞に選ばれた川柳は内科外来前の掲示板に掲示しています。また、投句された川柳を冊子にまとめましたので病院に来られた際には、是非ご覧ください。



いがぐり祭 を行いました

昨年10月19日(日)第14回飯田病院「いがぐり祭」を行いました。

ドクター講演、健康チェックスタンプラリー、あまぐり薬局(調剤体験)、アロマハンドマッサージ、コンサート、模擬店、縁日、そば打ち、お茶会、東北海産物販売など、病院ならではの様々な企画に今回も多くの方に
お越しいただきました。



ロビーコンサートのお知らせ



第143回 2月28日(土)	チェロ・クラリネット・ピアノコンサート 浅井 崇子(クラリネット) 新井 康之(チェロ) 金澤 みなつ(ピアノ)	名古屋フィルハーモニー交響楽団の浅井崇子さん、豪華なトリオにて飯田病院ロビーコンサート初登場です。
第144回 3月28日(土)	ソプラノ 平澤 見幸(ソプラノ) 鈴木 啓太(ピアノ)	飯田市出身のソプラノ歌手平澤さんの出演です。全国でコンサートを開催、オペラにも出演されている平澤さんがこちら飯田病院ロビーコンサート初登場です。
第145回 5月16日(土)	桑原利彦と音楽仲間たち 桑原 利彦 ほか	飯田市を代表するミュージシャンの桑原さんの出演です。今回の仲間たちとは果たして・・・
第146回 6月6日(土)	ジャズとピアノコンサート クニ 三上 ほか	詳細は後日お知らせします。

いずれも、○開場 午後6時 ○開演 午後6時30分 ○入場無料

ご家族、ご友人お誘い合わせてお気軽にご来場ください。出演者等の都合により日時が変更になる場合があります。詳しくは飯田病院までお問い合わせください。

冬季流行感染症予防のための面会についてのお願い

入院治療中の患者さんのインフルエンザやノロウイルスなどの冬季流行感染症を予防するために、以下の対応のご理解とご協力をお願いいたします。

12月1日からは冬季流行感染症注意期間として、患者さんへの面会時は、マスクの着用と手洗いを必ず行ってください。

尚、インフルエンザや感染性胃腸炎の発生が増加すると地域(県下)に警報が発令されます。その場合、期間に限らず一般の方の面会を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

院内携帯電話の使用についてのお願い

当院では院内にて携帯電話の使用が可能ですが、以下のルールを守っていただけるようお願い致します。

1. 院内ではマナーモード及びサイレントモードに設定してください。
2. 歩行しながらの通話やメール、大きな声での通話をご遠慮ください。
3. プライバシー保護のため、写真・動画撮影及び録音機能の使用はご遠慮ください。
4. 患者さんの病状によっては、携帯電話・スマートフォンの使用を控えていただくお願いをする場合がありますのでご了承ください。

「かお」の見える 医療を シリーズ 職場紹介 No.9

北5階病棟



飯田病院は一般病床212床、精神科病床240床と約半数ずつの病床を持つ、全国的にも珍しい病院です。

精神科は飯田下伊那地区として大阪府や香川県の面積より広い医療圏の精神科医療をカバーしています。最近の児童・思春期といわれる世代は発達障害や愛着障害という問題を抱える子供たちが増え、また高齢化の進む当地では認知症のお年寄りも毎年増えています。そのため子供から高齢者まで幅広い世代の患者さんが精神科の対象となっています。

飯田病院の精神科病棟は2つの開放病棟と2つの閉鎖病棟で構成されています。精神科の病気では患者さんの安全と保護のために、時として強力な守りを必要とします。それが閉鎖病棟です。

北5階病棟は精神科の急性期閉鎖病棟として男性の看護師10名と女性の看護師9名、看護補助者5名で日々の看護を提供しています。当院の中で男性看護師が10名も配属されている病棟はほかにありません。そのため精神科として重症の精神疾患の患者さんが入院されています。

最近では医療費抑制削減が国の課題になっており、どの科においても早期退院が求められています。これは精神科も例外ではありません。しかし「こころの疲れ」を癒すのにはそれなりの時間がかかります。

時代の流れや国の要請に応じながらも、一方で地域のニーズにもこたえられるように日々研鑽していきたいと思えます。

大根ステーキ

栄養科
おすすめ
レシピ

冬の定番野菜“大根”。シンプルで低カロリーな食材です。大根の辛み成分『イソチオシアネート』は、抗菌作用・抗酸化作用があり、ガン予防にも効果があります。また、『ジアスターゼ』というでんぷん分解酵素が消化を助け、胃もたれや胸やけなどに効果があります。※ジアスターゼは、熱に弱いため、おろしなどの生食がおすすめです。今回は、栄養科スタッフ押しの大根ステーキをご紹介します。



材料（4人分）

大根	1本	
A	生姜	1片
	酒	小さじ2弱
	しょうゆ	大さじ1弱
	トウバンジャン	少々
油	小さじ2	
ゆずの皮	少々	

エネルギー…39kcal たんぱく質…0.7g 脂質…2.1g 食塩…0.6g （1人分あたり）

【作り方】

- ① 大根は1.5～3cmくらいの厚さに切り、かくし包丁を入れる。
- ② ①の大根をやわらかくなるまでゆでる。
- ③ 鍋にAを入れて煮立たせて火を止め、②の大根を熱いうちに入れ、冷めるまで置く。
- ④ フライパンに油を熱し、両面きつね色になるまで焼く。
- ⑤ お皿に盛り、せん切りにしたゆずの皮を天盛りにして出来上がり。



調理師 前沢



調理担当者より一言！！

お値段は安いイメージの大根ですが、ひと手間加えて高級料理の様な仕上がりに！！

ポイント1

- ・大根はお好みの厚さでOKですが、かくし包丁を入れる事、熱い調味料にゆでたての大根を漬け込む事で中まで味がしみみます。

ポイント2

- ・片面が焼けたらフタをすると、火の通りが早く、短時間で仕上げる事ができます。

飯田病院 外来診療予定表

平成27年1月現在

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	①		羽生修治			羽生修治	(交替制)	午後休診
	②	原重樹	原重樹	千葉恭	糖尿病外来	原重樹		
	③			渡部秀雄		石坂香世		
	④	糖尿病外来	渡部秀雄	羽生修治	山路研二	渡部秀雄		
	⑤	千葉隆一	唐澤光治	千葉隆一	千葉隆一	唐澤光治		
	⑥	原栄志	佐々木成人	佐々木成人	原栄志	佐々木成人		
神経内科		木下朋実 (信大)	羽生修治	関島良樹 (信大)		羽生修治	(交替制)	午後休診
外科	①		田中穂積		田中穂積	田中穂積		午後休診 月・水・土曜休診
	②		森田誠市		森田誠市	森田誠市		
	③		柴田祐充子		柴田祐充子	柴田祐充子		
整形外科	①	鈴木健太郎		鈴木健太郎		鈴木健太郎	田中厚誌 (信大)*	午後休診 火・木曜休診 *土曜不定期診療
	②	矢嶋秀明		矢嶋秀明		矢嶋秀明		
	③	小林貴幸		小林貴幸		小林貴幸		
眼科	①	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子		(交替制)	
	②	中澤哲治		中澤哲治	中澤哲治	中澤哲治		
泌尿器科		梅田俊一	深澤瑞也 (山梨大)	梅田俊一		神家満学 (山梨大)		午後休診 木・土曜休診
精神科		松澤富男 松本武典 松田あずさ	小宮山徳太郎 木下守	南風原泰 柿田充弘 松田あずさ	神庭靖子 杉浦琢 松本武典	小宮山徳太郎 南風原泰 松澤富男 柿田充弘	柿田充弘 【隔週】	
耳鼻咽喉科		堀口茂俊	堀口茂俊		堀口茂俊		堀口茂俊	土曜日予約制
上部内視鏡			原栄志 石坂香世	(交替制)	(交替制)	原栄志	市瀬博	
下部内視鏡			原栄志	(交替制)	伊東一博	原栄志 伊東一博		
阿智診療所		羽生修治	(交替制)	原重樹	石坂香世	千葉隆一		午後休診 土曜日休診

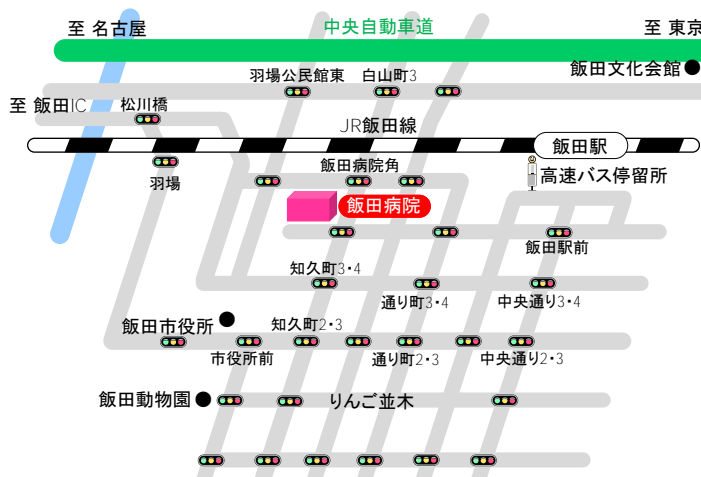
※ 内科、神経内科、外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科は午前11:00までの受付となります。

※ 土曜日午後は全科休診となります。



〒395-8505 長野県飯田市大通1丁目15番地
 TEL 0265-22-5150 FAX 0265-22-3988
 URL <http://www.iida.or.jp/>
 医療連携課
 TEL 0265-56-0031 FAX 0265-56-0032

- ◎JR飯田線 飯田駅より徒歩5分(約300m)
- ◎中央自動車道 飯田I.Cより車で10分(約5km)
- ◎飯田市市民バス 飯田病院前バス停下車
- ◎信南交通 飯田病院前バス停下車
飯田病院角バス停下車



広報誌 平成27年冬号(第44号)
 ■発行 社会医療法人栗山会
 ■編集 広報委員会